事例No.	1170
公表年度	R2
団体の属性	特別区
団体名	東京都新宿区

事例区分	一般行政

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・組織改革 ・情報公開

事例種類	自治体間連携

事例内容・タイトル

自治体間連携によるカーボン・オフセット事業

出典

森林環境譲与税の取組事例集（令和２年10月）

自治体間連携

東京都　新宿区（自治体間連携によるカーボン・オフセット事業）

- 新宿区では、長野県伊那市、群馬県沼田市、東京都あきる野市に開設した３つの「新宿の森」で森林整備を行い、温室効果ガスである二酸化炭素（ＣＯ２）の吸収を促進させ、区が排出するＣＯ２と相殺するカーボン・オフセット事業に取り組む方針。
- 令和元年度においては、以下の取組により、346.85t-CO_2のカーボン・オフセットを実施した。
  - 各市と連携し、「新宿の森」のうち約40haの森林整備を行った。
  - 「新宿の森」が所在する各都県へＣＯ２吸収量の認証を申請し、346.85t-CO_2の認証を受けた。

□ 事業内容

自治体間連携によるカーボン・オフセット事業

友好提携を結んでいる長野県伊那市をはじめとする3市と連携し森林を整備することで、区が排出するＣＯ２と相殺するカーボン・オフセット事業に取り組んだ。

【事　業　費】21,388千円（うち譲与税12,803千円）

【実　　績】長野県伊那市

・間伐 26.18ha、路網整備 404m

・CO_2吸収量 244.2t-CO_2（複数年認証分を含む）

群馬県沼田市

・下草刈り 12.03ha

・CO_2吸収量 82.6t-CO_2

東京都あきる野市

・除伐 1.1ha、根払い及びシカ害防止ネット巻き 0.16ha

・CO_2吸収量 20.05t-CO_2

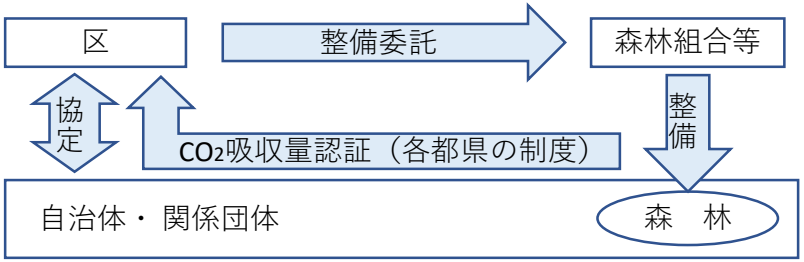


（間伐作業＜長野県伊那市＞）



（間伐材搬出＜長野県伊那市＞）

□ 事業スキーム



□ 工夫・留意した点

- 計画的な事業実施のために、相手先自治体・関係団体と緊密に連携していく必要がある。令和元年度は群馬県沼田市と協議の上、令和7年3月末までの新たな協定を締結した。
- 森林整備に関する技術的専門性を確保するため、職員による管理・監督に加え、専門業者への監督補助業務委託も活用し、適正な事業実施に努めた。

◇ 基礎データ

①令和元年度譲与額	13,493千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0.0%
④人口（※３）	333,560人
⑤林業就業者数（※４）	18人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」

※２：「2015農林業センサス」　　※３，４：「H27年国勢調査」